

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。

成長につながる各部の活動



6月18日から地区中総体です。各部それぞれの思いを胸に練習や準備に取り組んでいます。また、文化系の部もコンクールや作品完成をめざし努力しています。

胆沢中生の活躍を心から願っています。

IHNP(胆沢ハートネットプライド)

心のつながりを大切にしようとしている合言葉です。取組の一環として、胆沢中の良い

ところをカードに記入し交流しました。

カードは1階廊下に掲示しました。全校生徒が様々な観点から良いところを見ている様子が書かれています。良いところは増やしていきたいと思います。また、学校として、子どもたちの願いや期待にしっかり応えられる体制を継続していきます。

- ・返事がよい。
- ・当たり前のことが当たり前できている。
- ・よくないところを全員で直そうとするところ。
- ・みんな元気でいざというときは協力できること。
- ・挨拶が活発。
- ・周りを見て、人が喜ぶ行動ができる人がいる。
- ・校舎、建物がきれい。
- ・いじめが少ない。
- ・伝統を大切にしている。
- ・行事に積極的。
- ・ISAWA PRIDを大切にしている。
- ・いじめにちゃんと対応してくれる。
- ・生徒会を中心に全校が目標に向かっていくこと。

いじめ防止宣言



こちらにも I HNP につながるもので、同様にカードに記入し、掲示してあります。

- ・悪口を言わない、SNS に書き込まない。
- ・休んでいた人が来た時に理由を聞かない。
- ・男女仲良くする。
- ・思いやりをもつ。
- ・誰にも不平等にならないようにやさしく接する。
- ・自分はよくても、相手がどう思うかを考えて行動する。
- ・相手のことを考えて行動する。
- ・自分がされて嫌なことはしない。
- ・みんなとたくさん交流する。
- ・みんなが集まる場で情報を共有する。
- ・いじめだと思ったら、誰かに相談する。
- ・いじめを見たら、先生に報告する。
- ・いじめを出さない雰囲気をつくる。

相手のことを思いやる気持ちが、たくさんの表現で記されています。

「してはいけないこと」や「することでよりよくなること」の両面について、カードに一人ひとりの思いが宣言の形で書かれています。

目標を達成するために

生徒のみなさん、4月に立てた目標の進展状況はどうでしょうか。うまく進んでいるでしょうか。せっかく立てた目標ですから、時々状況確認をしてほしいと思います。

めあてに向かって進むためには、何かを変える必要がある場合もあります。そうした時に私が実行している、変えるための方法を紹介します。

ひとつ目は周りの人に宣言することです。数字や時間など具体的なものを口に出して伝

え、有言実行する形とする方法です。

ふたつ目は変えたいことを3週間無理やりにでも続けることです。3週間過ぎるころには習慣になり、意識しなくてもできるようになるものです。

うまくいかないこともありますが、私には効果がある方法です。参考にしてほしいと思います。そして、これからもめあてを意識した生活を続けてほしいと願っています。

進路を考える その2

今回は、進学を希望する理由についてです。自分の人生に必要で実際的な学習を希望する傾向と、自分のやりたいことを進めていきたいと考える傾向があるようです。

調査4 進学を希望する理由は何か

<多い理由>

- | | |
|-------------------|-------|
| ・就職に有利だと思うから | 90.1% |
| ・学校生活を楽しみたいから | 89.4% |
| ・仕事の知識技能を身につけたいから | 85.8% |
| ・教養を高めたいから | 81.8% |

<少ない理由>

- | | |
|---------------|-------|
| ・先生がすすめるから | 20.3% |
| ・友人や先輩がすすめるから | 25.5% |
| ・まだ働きたくないから | 25.9% |

また、当たり前のことのようにも感じますが、まわりのすすめではなく自分で決定していることも調査結果から見てとれます。「自分にとってどうなのだろうか」を基準として進路先を検討し、最終的な決定に進むようにさせたいものです。